

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	学外実習 I
科目基礎情報						
科目番号	2022-362		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科		対象学年	3		
開設期	集中		週時間数			
教科書/教材						
担当教員	鈴木 静男					
到達目標						
1. 社会人としての基本的なマナーを遵守したコミュニケーションができる。 2. 企業における業務の遂行方法（開発手順、作業手順、文書管理など）について説明できる。 3. 一日の作業内容を的確に報告できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
1. 社会人としての基本的なマナーを遵守したコミュニケーションができる。	社会人としての基本的なマナーを遵守したコミュニケーションができ、円滑に業務遂行ができる,		社会人としての基本的なマナーを遵守したコミュニケーションができる。		社会人としての基本的なマナーを遵守したコミュニケーションができない	
2. 企業における業務の遂行方法（開発手順、作業手順、文書管理など）について説明できる。	企業における業務の遂行方法（開発手順、作業手順、文書管理など）について説明でき、応用できる。		企業における業務の遂行方法（開発手順、作業手順、文書管理など）について説明できる。		企業における業務の遂行方法（開発手順、作業手順、文書管理など）について説明できない	
3. 一日の作業内容を的確に報告できる。	一日の作業内容を的確に報告でき、スケジュールリングができる。		一日の作業内容を的確に報告できる。		一日の作業内容を的確に報告できない	
学科の到達目標項目との関係						
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 5						
教育方法等						
概要	本学科の教育目標「C.工学的な解析・分析力、およびそれらを創造的に統合する能力」、「D.論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力」、および「E.与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力」を養うために、企業など学外において専門的な作業を実施する。					
授業の進め方・方法	本人の要望をきき、受け入れ先との協議による。					
注意点	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		2週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		3週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		4週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		5週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		6週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		7週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		8週	学外実習	受け入れ先との協議による		
	2ndQ	9週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		10週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		11週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		12週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		13週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		14週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		15週	学外実習	受け入れ先との協議による		
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				

		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	報告書	口頭試問	自己評価	合計	
総合評価割合	70	20	10	100	
基礎的能力	0	0	0	0	
専門的能力	70	20	10	100	
分野横断的能力	0	0	0	0	